

5人の“市民キュレーター”が、大阪府のモダンアート作品で展覧会を作りました。

さまざまな人生経験を背景に、5人それぞれの角度から未知のアートと取り組んで出来た、5つの展示。

それはご覧になるあなたにも、きっと新しい気付きを与えてくれるでしょう。

大阪新美術館建設準備室の主催で2012年に始まったこの事業も、今年で5回目です。

節目となる今年は、展覧会とともに特別なイベントも行います。

あなたを
うつす
5つの鏡

2015

12.15 Tue



12.26 Sat

5人の市民キュレーターによる 大阪府20世紀美術コレクション展

開館時間=11:00 ~>19:00 (日曜日は16:00まで) 月曜日休館 入場料=無料
展覧会場=大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco) 4階 展示室1

関連イベント [参加無料、事前申し込み不要] 日時=12月23日(水・祝日)

●ギャラリートーク=13:00~ 市民キュレーターが企画内容や出品作品について語るギャラリートークを会場で実施します。

●トークイベント=14:30~ ゲストに「木津川」アートプロジェクト」総合プロデューサー(2010~)の佐藤啓子さんを迎え、ボランティアが主体的に参加する地域型アートイベントの事例をお聞きしながら、市民がアート事業をになうことの意義や可能性について考えます。

主催 = 大阪新美術館建設準備室

共催 = 大阪府立江之子島文化芸術創造センター

助成 = 一般財団法人地域創造

あな た を う つ す 5 つ の 鏡

5人の市民キュレーターによる 大阪府20世紀美術コレクション展



市民キュレーター
岩城 遼

●プロフィール

今年、男の子を出産しました。小さな赤ちゃんが、好奇心や欲求のままに行動する様子に刺激を受け、応募しました。子どもから受けた刺激が、作品を通して、見ていただける方にも広がっていけば嬉しいです。

●赤ちゃんが見ている世界

産まれてすぐの赤ちゃんは、ほとんど目が見えません。しかし数か月で、色、奥行、動きさえ捉えられるようになり、私達が見ている世界に近づいていきます。短い間に起こる、赤ちゃんの視覚の劇的な発達を表現します。



金光松美「鳥の日曜日」

市民キュレーター
西山 佐和

●プロフィール

嫁いで4年目の主婦です。アートに触れることは趣味であり、心の栄養にもなっています。もっと大阪の人や街に溶け込もうと考えている今日の頃。この市民キュレーターがその第一歩になればと思っています！

●余白の時間

いつでも余裕をもって、心に余白のようなものをもっていたと願う自分がそこにはいます。展示室にたたずみ、その時間、心や空間、作品から…皆様にもなにかの余白を感じていただけたら嬉しいです。



金田辰弘「夜(花)」

●プロフィール

現代アート好きなお気楽主婦。趣味は美術館巡りや観劇など。瀬戸内国際芸術祭やアールブリュットを扱う滋賀のNOMAも大好き。そんな時に会ったこちらの企画。美術館の裏側が覗けるなんて、ワクワクドキドキです。



市民キュレーター
杉浦 友子

●楽しんで 癒されたい ～感性を刺激する色と動物～

ストレス社会に生きるみなさんも、是非こんな作品たちを、心を解放して眺めてみて下さい。色の持つパワーに触れると心が暖かくなって元気をもらえるはず。ペットに癒されるように、明るい色調の動物たちに癒されるはず。



浅野竹二「歩いている毛物」



市民キュレーター
森川 佳奈

●プロフィール

幼い頃より絵に囲まれた生活をしてきました。昔は退屈で仕方がなかったのですが、ある日、恋に落ちるように芸術の世界へ惹き込まれました。そんな私が、今度は発信する機会を頂いたことに、心から感謝しています。

●Hungry? Come feed yourself!

～腹ペコ？ 食べにいらっしやい～

「食」をテーマにした世界。毎日口にする「食」を「食べる」以外の角度から集めました。楽しい食卓が、どんなところから来て、どんなところへ繋がっているのか。美味しいだけではない世界を、ぜひご賞味あれ。



伊藤継郎「アトリエの二人」

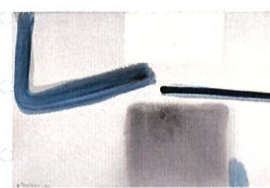
市民キュレーター
武藤 祐二

●プロフィール

定年が近づいているサラリーマンです。暇をみつけて展覧会を見ている。セリタイヤ後は、若いころの夢だった美術関係に少しでもかかわれればと思っています。サラリーマンコレクターになったつもりで頑張ります。

●シンプル ～作品は見る人によってできあがる～

世の中の複雑さにうんざりしていませんか。シンプルな作品ほどいろいろな見方を受入れてくれます。作者は何を言いたいのだろうか考える必要はありません。作品と向き合うとき心に生まれた何かひとつの作品です。



津高和一「作品」

“市民キュレーター”って何？

いろいろな美術作品を、選んで、並べる。美術館の学芸員が日々たずさわる、この展覧会づくり(キュレーション)という仕事は、実際のところ、市民のみなさんには、なかなかイメージしにくいものかもしれません。そんな展覧会づくりを体験してもらい、美術館活動への理解を深めてもらうために、普段は展覧会を見る立場にある人に「市民キュレーター」として活動してもらう試みが、日本各地の美術館で行われています。

【問合せ】 大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)

〒550-0006 大阪市西区江之子島2丁目1番34号

TEL:06-6441-8050 FAX:06-6441-8151

HP:www.enokojima-art.jp E-mail:art@enokojima-art.jp



【アクセス】

大阪市営地下鉄千日前線・中央線「阿波座駅」下車、8番出口から西へ約150m
*館内に一般向け駐車場はございません。

enokojima creates osaka
enoco